

先ず身を守る！
Shake Out！

今どこ？

大学施設内

自宅・下宿

その他の場所

1. 揺れが収まったら怪我の有無を確認
2. 周囲の負傷者を救助
3. 津波警報が出た場合は、三重大学津波避難基本計画に基づき、教職員が示す建屋の4階以上に避難
4. 津波の脅威がなく休講になった場合は、交通機関の状況を把握して帰宅方法を検討（帰宅が困難な場合は大学が保護しますので教職員の指示に従ってください）
5. ANPICで安否報告
6. ANPICからの指示連絡を確認

1. 揺れが収まったら怪我の有無を確認
2. 地震関連情報を収集（事態の深刻度を確認）
3. 周囲の被災を確認
4. 要救助者がいれば救助
5. 被害が甚大な場合、行政の指示に従う
6. 津波警報が出た場合は、行政の指示に従って避難（近傍の指定避難所へ）
7. ANPICで安否報告
8. ANPICからの指示連絡を確認

1. 揺れが収まったら怪我の有無を確認
2. 安全を確保できる場所に移動
3. 地震関連情報を収集（事態の深刻度を確認）
4. 周囲の被災を確認
5. 要救助者がいれば救助
6. 被害甚大な場合、施設等の管理者又は行政の指示に従う
7. 津波警報が出た場合は、行政の指示に従って避難（近傍の指定避難所へ）
8. ANPICで安否報告
9. ANPICからの指示連絡を確認

津波警報の発表を知ったら

津波の有無を判断する基準

場所：南海トラフ
強さ：M6以上
深さ：100Km未満

とにかく避難する！

今どこ？

大学施設内

1. 三重大学津波避難基本計画により避難
 - ①教職員が指示する建屋に垂直（4階以上）避難
 - ②避難建屋にて学生証を用いて避難完了を登録
 - ③ANPICで安否報告
 - ④津波を回避
 - ⑤津波警報解除まで待機
2. 警報解除後は、帰宅又は2次避難
(2次避難の詳細は災害の状況に応じて示される)

自宅・下宿内

1. 津波脅威がない地域では
 - ①そのまま待機
 - ②安否確認の問い合わせに対応
 - ③関連情報を収集
2. 津波脅威がある地域では
 - ①行政が指定した避難場所に速やかに避難
(近傍の指定避難所へ)
 - ②車は使用しないこと。
 - ③電気ブレーカー、ガス栓を締め、2次災害を予防
 - ④避難完了後はANPICで居場所を報告
3. ANPICからの指示連絡を確認

※日頃から持ち出し品を準備しましょう。

その他の場所

1. 津波脅威がない地域では
 - ①そのまま待機
 - ②ANPICで安否報告
 - ③関連情報を収集
2. 津波脅威がある地域では
 - ①行政が指定した避難場所に速やかに避難
近傍の指定避難所へ
 - ②車があっても使わない
 - ③避難完了後は、ANPICで居場所を報告
3. ANPICからの指示連絡を確認

暴風警報が発表された

対応について判断する

今どこ？

大学施設内

三重大大学の「特別警報・警報発表時等の措置について」に基づき行動

1. 洪水警報が予測され公共交通機関に影響が出る恐れがある場合
学部長等の判断で休講措置
2. 休講後、既に交通機関が停止して帰宅困難な場合は大学が保護します。
希望者は、教職員の指示に従ってください。

※無理な帰宅での2次災害を避けましょう。

自宅・下宿内

三重大大学の「特別警報・警報発表時等の措置について」に基づき行動します。

1. 午前6時までに警報が解除されない場合は、午前の授業を休講（自宅学習）
2. 午前10時までに警報が解除されない場合は、午後も休講

関連する情報は

- ①大学ホームページ
- ②ユニパ、ANPICメールで配信します。

※日頃から持ち出し品を準備しましょう。

その他の場所

1. 通学・通勤途上の場合
三重大大学の「特別警報・警報発表時等の措置について」に基づき行動
（詳細は左の欄を参照）
交通機関が機能するうちに帰宅、帰宅できない場合は交通機関が案内する施設に避難
（ANPICに安否報告）
2. その他の地域にいる場合
 - ①1項に準じて行動
 - ②既に帰宅困難な場合
行政の指示に従って行動
 - ③ANPICに安否報告
3. 三重大大学からの関連情報を確認

近隣河川の氾濫や高潮情報が発表された

避難の可否を判断する。



大学施設内

1. 想定事象
 - ①志登茂川の氾濫
 - ②高潮
 - ③豪雨で学内に雨水が集中
2. 対処
 - ①教職員が指示する建屋に垂直避難する。
 - ②避難建屋にて学生証を用いて避難登録する。
 - ③ANPICで安否報告する。
 - ④洪水警報が解除されるまで待機する。
 - ⑤警報が解除された場合に帰宅する。
帰宅できない場合には、大学が保護します。

自宅・下宿内

1. 想定事象
 - 下宿・自宅がハザードマップの浸水エリアにある場合
2. 対処
 - ①行政の指導に従い避難する。
 - ②安否確認の問い合わせがあれば、対応する。
(問い合わせがない場合でもANPICに接続して、自身の安否状況を報告しましょう。)
 - ③関連情報を収集する。

※日頃から持ち出し品を準備しましょう。

その他の場所

1. 想定事象
 - 出先で水害に遭遇した場合
2. 対処
 - ①状況がつかめない場合は住民、警察、消防等に確認する。
 - ②行政の指導に従い避難する。
 - ③避難施設に到着したら、家族等に連絡する。
 - ④安否確認に対応する。
(大学から安否確認が無くてもANPICに自身の状況を報告しましょう。)
 - ⑤関連情報を収集する。